

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2007 情報セキュリティアドミニストレータ 徹底解説 本試験問題

No	訂正箇所	正
1	H18-66～67 問5解説 解説全文差替	<p>データマイニングツールとは、大量に蓄積された生データに対して、ニューラルネットワークなどの知識発見手法や相関分析などの統計的手法を用いた解析処理を行い、法則や因果関係の発見を支援するツールのことである。したがって、(ウ)が正しい。</p> <p>データマイニングの有名な例として、大量の売上データを解析し、「紙オムツを買う人は、同時にビールを買うことが多い」という法則性のあることが発見された。一見、何の関係もなさそうな紙オムツとビールについて、直感的に関係を導くことは困難である。データマイニングは、大量データに対する解析処理によって、直感的には導けないような結果を導くための手法である。</p> <p>ア：「企業内で発生する情報を主題ごとに時系列に蓄積する」というのはデータを蓄積する、データウェアハウス自体の説明である。</p> <p>イ：「集計データを迅速かつ容易に表示する」、「様々な情報分析機能を提供する」というのは、仮説検証や what if 分析などが行える OLAP (OnLine Analytical Processing) ツールの説明である。</p> <p>エ：「目的別データベース」を整備するというのは、多角的なデータ分析をサポートするためのデータマートの説明である。</p>